

令和 7 年度
岐阜大学若手・中堅研究者海外研修プログラム
募集要項

グローバル推進機構は、協働教育担当者の充実を図るために、「岐阜大学若手・中堅研究者海外研修プログラム」を実施し、これにより海外研修を行う者への支援を行っています。これは、様々な制約から海外での研究経験を積む機会が乏しかった若手・中堅の教員を対象としたもので、海外研究経験を積むことを支援するものです。これにより岐阜大学ビジョン（岐阜のミ・ラ・イ・エ構想）に掲げられている国際化に資する人材の育成を図ります。

1. 派遣対象者

令和 7 年 4 月 1 日時点で満 55 歳未満の教員で、海外共同研究者と共同研究を行う計画のある者を対象とする。

なお、以下を優先することがある。

- ・岐阜大学着任以前を含めて、3 か月以上の海外研究（留学）経験を持たない者
- ・ジョイント・ディグリー担当教員者（予定も含む）
- ・科学研究費助成事業 国際共同研究加速基金申請者（予定も含む）

2. 渡航期間

1 か月以上とし、本年度中に出発すること。上限は設定せず、部局判断により長期の派遣が望ましい。

3. 支給内容

渡航にかかる往復航空券代、現地滞在費として、1 人 100 万円を支援の上限とする。

なお、渡航期間にかかわらず、助成金は令和 7 年度中に執行する必要があるため、特に年度をまたいでの渡航を予定している場合は留意すること。

4. 採択予定件数

若干名

5. 応募書類

- ・岐阜大学若手・中堅研究者海外研修プログラム申請書（様式 1）
- ・共同研究計画書（任意様式、A 4 用紙 2 枚程度）
- ・海外受入れ研究者との連絡状況を示す書類（電子メールの写しなど）
- ・航空券代の積算根拠の分かる書類

6. 提出期限および提出先

提出方法：5に定める書類を、下記の提出期間内に所属部局の担当係を通じて学務部国際事業課国際総務室国際総務係（kakita.miko.b1@mail.f.thers.ac.jp）に提出すること。

提出期限：令和7年6月30日（月）17：00まで

7. 選考方法

提出された書類は、グローバル推進機構国際協働教育推進部門会議にて審議後、承認を行う。選考結果は、令和7年7月中旬に通知する。

8. 派遣者への要請事項

派遣期間中の直接的な成果にとらわれず海外経験を積むこと。さらに、帰国後にも共同研究、学生の派遣・受入れなどを可能とするネットワークの構築に務めること。また、帰国後に自身が行う講義内で海外経験の紹介を行う等、教育へ反映させること。

9. 報告義務

帰国後は速やかに報告書（様式2）、航空券領収書及び半券の写しを学務部国際事業課国際総務室国際総務係（kakita.miko.b1@mail.f.thers.ac.jp）に提出すること。報告書には渡航中に行った共同研究に加えて、今後の交流計画を含む内容とすること。また、派遣期間が年度をまたがる場合には、令和8年3月6日（金）までに、途中経過（任意書式）を学務部国際事業課国際総務室国際総務係まで連絡すること。

なお、ご提出いただいた報告書（様式2）については、毎年グローバル推進機構が発行している国際交流年報（「国際交流年報 2025」2026年6月発行予定）へ掲載します。年度をまたいだ渡航の場合は、次年度の国際交流年報（「国際交流年報 2026」2027年6月発行予定）へ掲載します。

10. 助成事業一覧と過去の採択実績について

グローバル推進機構で行っている助成事業一覧と過去の採択実績（5年分）は、グローバル推進機構ホームページに掲載しておりますので、下記をご確認ください。

<https://www.glocal.gifu-u.ac.jp/collaboration/funds/budget01/>

11. 問合せ先

学務部国際事業課国際総務室国際総務係

TEL：058-293-3350

E-mail：kakita.miko.b1@mail.f.thers.ac.jp